

第5回世界湿地都市ネットワーク市長会議の 新潟開催について（国内初開催）

ラムサール条約の湿地都市認証を受けた都市（R8.9月末時点、27か国74都市）による国際会議。湿地都市間の交流やさらなる情報発信を目的として、毎年開催しており、日本では初めての開催。

1 新潟開催について

- ・会議名 第5回 世界湿地都市ネットワーク市長会議
- ・テーマ -Living with Wetlands-（湿地とともに生きる未来）
- ・日時 令和8（2026）年11月30日（月）～12月2日（水）の3日間
- ・会場 朱鷺メッセ（中央区万代島）、ほか市内の湿地
- ・参加者 湿地都市認証を受けた都市の代表者、ラムサール条約の関係者など、150人程度の見込。

2 会議内容（予定）…別紙（2枚目資料）参照

- ・ラムサール条約の事務局長である、ムソンダ・ムンバ氏（写真右）が初めて会議に出席。
- ・会議の内容はA I等により通訳又は翻訳され、主要なプログラムは一般公開。
- ・関係者のみではなく、市民の皆さまが参加できる開かれた会議とする。



ラムサール条約締約国会議（COP14）でムソンダ・ムンバ事務局長から認証証書を授与される中原市長（R4.11月）

3 参加都市一覧（令和8年10月28日時点）

地域	国	湿地都市		オブザーバー都市	
アジア	タイ	シーソンクラーム	1	-	
	韓国	金海市、高敞郡、順天市、 西帰浦市、済州市、昌寧郡	6	英陽郡、仁川広域市教育庁	2
	中国	-		深圳市	1
	日本	新潟市、名古屋市、出水市	3	釧路市、福島県、会津若松市、 猪苗代町、郡山市、小山市、 阿賀野市、熊本市	8
	フィリピン	バランガ	1	-	
中南米	チリ	バルディビア	1	-	
欧州	ハンガリー	タタ	1	-	
	ポーランド	ポズナン	1	-	
中東	イラン	ヴァルザネ	1	-	
アフリカ	チュニジア	ガール・エル・メル	1	-	
	ボツワナ	シャカウェ	1	-	
	11カ国	17都市		11都市	

【問い合わせ先】

新潟市環境政策課

世界湿地都市ネットワーク市長会議担当課長 草間

電話025-226-1356（直通）

参 考 機運醸成に向けた取組み

◆「国際湿地都市 NIIGATA」2026 情報発信プロモーション

媒体特性に応じたターゲット設定を行い、本市の潟・湿地の持つ多様な価値や魅力、保全・再生の取組みなどを YouTube や Instagram を活用して配信。



媒 体	内容・構成	主なターゲット	二次元コード
YouTube	・メイン動画（5～10 分程度） ・専門用語を避け、図解や具体例を用いた分かりやすい構成	小学生（概ね 4 年生以上）	
Instagram	・ショート動画（60 秒程度） ・テンポの良い編集、視覚的訴求を重視した構成	大学生・専門学校生	

◆ラムサール給食

【実施時期・対象校】

令和8年11月第3週～第4週、又は30日 ※実施日は各学校により異なる
市立の小・中学校、幼稚園及び特別支援学校

【ラムサール給食 共通メニュー】

- ・湿地の恵み（ハスの根“レンコン”＋お米）を使った「ラムサールカレー」
- ・「大根」のサラダ ※ラムサール条約湿地「佐潟」がある西区赤塚地区の大根は全国的に有名
- ・ハクチョウのイラストが入ったぶどうゼリー ※新潟市はコハクチョウの越冬数日本一
- ・アルビレックス牛乳 ※クラブマスコットの「アルビくん」はハクチョウがモチーフ
- ・世界湿地都市ネットワーク市長会議 開催記念カード ※湿地カード風の限定デザイン

（イメージ）



◆シティドレッシング（イメージ）

10月下旬から、新潟駅東西連絡通路や会場となる朱鷺メッセ周辺などで、シティドレッシングを実施するほか、ビュー福島潟や佐潟水鳥・湿地センターといった市内の公共施設でポスターやのぼりを設置し、市民の関心や歓迎機運の醸成を図る。

※設置個所は現時点の予定

市内バナー	横断幕	のぼり
 新潟駅東西連絡通路 35か所 10/28 設置予定	 朱鷺メッセ連絡通路 1か所 11/19 設置予定	 市役所本館 1か所 10/22 設置済
 朱鷺メッセ前道路 44か所 10/29 設置予定		 30か所

第5回世界湿地都市ネットワーク市長会議 プログラム(案) テーマ: -Living with Wetlands- (湿地とともに生きる未来)

日 時	【1日目】11月30日(月)	【2日目】12月1日(火)	【3日目】12月2日(水)
会 場	朱鷺メッセ	朱鷺メッセ	市内の湿地等(フィールドビジット)
会 議 内 容	<p>14:00~14:30 開会式(2Fメインホール) 【主催者及び来賓あいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市長 ・ムソンダ ムンバ氏(ラムサール条約事務局長) ・未定(環境省) ・未定(新潟県) ・ソ スンオ氏(ラムサール条約東アジア地域センター長) <p>14:30~15:10 基調講演(2Fメインホール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イングリッド クツツエー氏(ICLEI アフリカ世界都市多様性センター) ・中村 玲子氏(NGO ラムサールセンタージャパン フェロー) <p>15:10~16:10 ポスター発表コアタイム(2F 初仁)</p>	<p>9:00~10:15 テーマ別分科会(2Fメインホール等) 【分科会テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①湿地教育 ②公民連携 <p>10:30~11:45 テーマ別分科会(2Fメインホール等) 【分科会テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ブランディング ④生物多様性 <p>11:45~13:15 昼食会(ホテル日航新潟30Fスカイバンケット)</p> <p>13:15~14:15 座談会(2Fメインホール等) 【座談会の参加対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域団体 ②ユース(35歳以下) <p>14:30~16:30 ネットワーク総会(4F国際会議場) ・新潟宣言の採択など</p>	<p>6:25~7:35 早朝ハクチョウ観察(鳥屋野潟)</p> <p>9:00~18:00 フィールドビジット(市内視察) ・バス3台で異なるルート(順番)で視察予定</p> <p>〈視察先〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島潟、佐潟 ・信濃川(ウォーターシャトル)※悪天候の場合はバス振替 ・新潟市歴史博物館(みなとぴあ) ・ハクチョウ観察(水田など) ・株アクアデザインアmano(西蒲区) など
	<p>【展示ブース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政(市・県・国)、学校(小中学校、大学)、市民団体が潟・湿地をテーマにしたパネルや展示資料の説明  <p>佐潟ハス復活プロジェクトの様子(赤塚小学校)</p>    <p>【企業ブース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潟・湿地に関連した商品の販売  <p>ヨシ糸を使った 亀田縞の限定グッズ など</p>	 <p>ネットワーク総会(第3回会議)</p>	<p>ポイント①【会議の公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界湿地都市ネットワーク市長会議での初の試みとして、基本的に全ての会議を一般市民の皆さまへ公開します。 ※朱鷺メッセでの全ての会議(夕食会、昼食会を除く)を公開します ・来場者には、国際会議開催記念限定のハクチョウカードと、抽選で湿地カードホルダーをプレゼント。  <p>ポイント②【AI通訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界湿地都市ネットワーク市長会議での初の試みとして、AI通訳を全面的に導入します。 ・主要な会場ではAIによる同時通訳を大型ビジョンに表示し、一般来場者にも分かりやすい会議を目指します。 <p>ポイント③【新潟宣言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市と湿地が共存する新潟市の特色を世界に発信するため、ネットワーク総会に「新潟宣言」を提案します。 ・都市と湿地の共生のあり方について、湿地都市ネットワークの総意として誓約し、発出することを目指しています。
	<p>16:10~17:30 全体発表(2Fメインホール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木 渉氏(環境省自然環境局野生生物課長) ・澤口 晋一氏(新潟国際情報大学 教授) ・小林 聡史氏(釧路公立大学 名誉教授) ・マリア アンジェリカ氏(ラムサール条約独立助言委員会) <p>18:00~20:00 歓迎夕食会(ホテル日航新潟4F朱鷺の間)</p>	<p>16:45~17:15 閉会式(2Fメインホール)</p>  <p>引継ぎセレモニー(第4回会議)</p>	

湿地とともに生きる未来

Living with Wetlands



第5回

世界湿地都市ネットワーク 市長会議

5th Roundtable of Wetland City Mayors

2026.11.30(月) → 12.2(水)

一般
入場可

会場 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 他

NIIGATA

主催 新潟市 共催 ラムサール条約東アジア地域センター (RRC-EA)



世界の湿地都市が 新潟に集まる

第5回世界湿地都市ネットワーク市長会議
5th Roundtable of Wetland City Mayors

世界湿地都市ネットワーク 市長会議とは

ラムサール条約の湿地都市認証を受けた都市（27か国74都市（R8.9現在））による国際会議です。湿地都市間での交流やさらなる情報発信を目的として年に1回「市長会議」を開催しており、日本では初めての開催となります。

湿地都市認証とは

ラムサール条約の理念である「湿地の保全や賢明な利用の推進」および「都市のブランド化」を図ることを目的とし、地域関係者の参加や環境教育など様々な国際基準に該当する“都市（自治体）”に対して認証を行うものです。国内では新潟市、出水市（鹿児島県）、名古屋市の3市が認証を受けています。（R8.9現在）

会議テーマ

湿地とともに生きる ～ Living with Wetlands ～

湿地とともに生きる未来を実現するため、世界の湿地都市がともに考え、行動することを目指します。



会議プログラム

日程	会場	内容
11月30日(月)	朱鷺メッセ	開会式、基調講演、ポスター発表、全体発表、歓迎夕食会、展示ブース
12月1日(火)	朱鷺メッセ	テーマ別分科会、座談会、ネットワーク総会、閉会式、展示ブース
12月2日(水)	市内の湿地や関連施設	フィールドビジット（市内湿地視察）、二都市間会議

市民の皆さまも参加できます

会議の内容はAI等により通訳され、主要なプログラムは一般公開します。パネル展示など多くの市民や関係団体の皆さまから参加いただける会議ですので、ぜひ会場でご体験ください。

※歓迎夕食会やフィールドビジット、二都市間会議など一部を除きます。



問い合わせ

新潟市環境政策課

TEL：025-226-1356

メール：kansci@city.niigata.lg.jp



会議の詳細は
こちら



新潟市HP

